



犬・笑・暮だより vol.24

見た目と違って犬の肌はとっても敏感肌？！



日本列島を寒波が襲いまさに冬本番の日々！
 飼い主さんも肌荒れや手荒れに悩む季節です。そこで今回はお肌のお話。
 と言っても、人間ではなくわんちゃんのお肌です (^_^)

全身を豊かな被毛に覆われているわんちゃん達は、一見、皮膚トラブルとは縁がなさそうですが、実は……。犬の皮膚は、人間と比べ角質層が薄く、とってもデリケート。刺激や乾燥・ストレスなどにはめっぽう弱く出ています。

●まず、清潔に保つことが大切

汚れやホコリなどが付着したままだと、ニオイの元にもなりますし、毛穴に詰まって様々なトラブルの元になりかねません。定期的にシャンプーをして清潔にするとともに、わんちゃんの住環境も清潔に保ってあげてください。

シャンプーの際はすすぎをしっかりと、皮膚への余計な刺激となる薬剤成分などが残らないようにします。また、濡れている時間が長ければ長いほど、犬の皮膚は、細菌などの繁殖に好適な環境になってしまいます。余計な皮膚病を招かないためにも、素早く皮膚に近い毛の根元を乾かすようにしましょう。

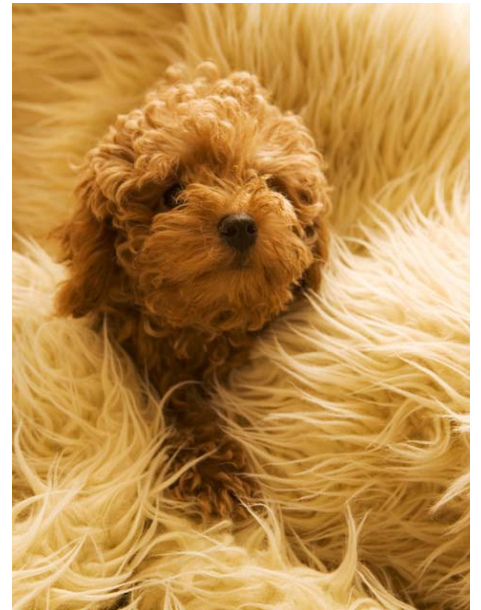
住環境を清潔に保つのは、人間にとっても必要です。ダニやホコリなどのハウスダストはもちろん、これからの季節は花粉にも要注意！人間より小さく、デリケートな皮膚のわんちゃんは、私達が想像するよりずっと大きな影響を受けてしまいます。

●乾燥も大敵！ 適度なうるおいも必要です

濡れている状態は細菌の温床ですが、反対に乾燥も大敵。静電気が起きてホコリが付着しやすく、被毛がパサつき、毛艶が悪くなります。犬も人間と一緒に、艶が良ければ実年齢より若く元気に見られるというもの（笑）！

また清潔にこだわるあまり、シャンプーのし過ぎはNG。適度に皮脂が分泌されないと、乾燥を招き、フケの原因になってしまいます。シャンプーは月1～2回くらいがよいとされています。

特にこの季節、暖房器具の温風に直接当たっていると、確実に乾燥を招き、やはりフケの原因に。お宅の愛犬、暖房の吹き出し口の前に陣取ってませんか？ わんちゃんに直接温風が当たらない工夫をしてあげて、飼い主さん共々、乾燥知らずの皮膚トラブル知らずで、この季節を乗り越えましょう。



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい



庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiyukan.jp>

